

2021年5月31日

Information News 第166号

いつも大変お世話になっております。ハウス食品分析テクノサービスでございます。

2021年5月24日～2021年5月28日の期間に発表された、食品に関連する話題を各省庁Webサイトより抜粋し、お届け致します。

バックナンバーは、弊社ホームページにも掲載しております。

<https://food-analab.jp/news/index.html>

★★弊社からのお知らせ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

食物アレルギー検査のうち、通知法に基づく「小麦由来タンパク質のELISA法による検出」の受託に関するお知らせです。

特定原材料検査キットとして、「FASTKITエライザVer.Ⅲ小麦：日本ハム(株)」、「モリナガFASPEKエライザⅡ小麦：(株)森永生科学研究所」を使用し検査しております。

お客様のご要望に沿うよう試験体制を整えておりますので、WEB、又はお電話・FAXからお気軽にお問い合わせ下さい。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

<厚生労働省>

・薬生食輸発0526第2号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について」（トルコ産ひよこ豆のアフラトキシン、パラグアイ産チアシードのアフラトキシン及びベネズエラ産カカオ豆のシペルメトリン）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000784803.pdf>

・薬生食輸発0526第3号「令和3年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（トルコ産ひよこ豆のアフラトキシン、パラグアイ産チアシードのアフラトキシン及びベネズエラ産カカオ豆のシペルメトリン）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000784806.pdf>

・薬生食輸発0526第1号「令和3年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（中国産おぐらのメソミル）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000784805.pdf>

⇒以下の農水畜産物でモニタリング頻度が変更となっております。

- ・トルコ産ひよこ豆のアフラトキシン（カビ毒）：検査命令⇒30%（緩和）
- ・パラグアイ産チアシードのアフラトキシン（カビ毒）：検査命令⇒30%（緩和）
- ・ベネズエラ産カカオ豆の農薬シペルメトリン：検査命令⇒30%（緩和）
- ・中国産おぐらの農薬メソミル：通常⇒30%（強化）

・薬生食輸発0527第1号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について」（韓国産青とうがらしのテブフェンピラド及びヘキサコナゾール）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000785560.pdf>

・薬生食輸発0527第2号「令和3年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（台湾産養殖鰻のレバミゾール、ミャンマー産ごまの種子のアフラトキシン並びに韓国産青とうがらしのテブフェンピラド及びヘキサコナゾール）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000785551.pdf>

⇒韓国産青とうがらしからテブフェンピラド及びヘキサコナゾールが検出され、検査命令となっております。あわせて、以下の農水畜産物でモニタリング頻度が変更となっております。

- ・韓国産青とうがらしの農薬テブフェンピラド及びヘキサコナゾール：30%⇒検査命令（強化）
- ・台湾産養殖鰻の動物用医薬品レバミゾール：30%⇒通常（緩和）

・ミャンマー産ごまの種子のアフラトキシン（カビ毒）：30%⇒通常（緩和）

・生食発0526第1号「食品衛生法第11条第1項の規定により厚生労働大臣が定める国若しくは地域又は施設の一部を改正する件について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000784801.pdf>

⇒HACCPに基づく衛生管理が講じられていることが確実であるものとして、国若しくは地域が新たに追加されました。

令和3年厚生労働省告示第212号

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/hourei/H210527I0040.pdf>

・生食発0527第2号「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000785611.pdf>

⇒**農薬エタボキサム，チオキサザフェン，フェンブコナゾール及び動物用医薬品オクスフェンダゾール，フェバンテル，フェンベンダゾール**について、食品中の残留基準値が設定又は改正されました。

・薬生食監発0528第1号「スペインから輸入されるめん羊肉等の取扱いについて」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000786166.pdf>

・薬生食監発0528第4号「スペインから輸入されるめん羊肉等の取扱いについて」（施設リスト）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000786167.pdf>

<農林水産省>

・世界に誇れる日本のディープな「食」体験！（募集期間：令和3年5月27日～令和3年7月19日）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/wasyoku/210527.html>

⇒来たるべきコロナ収束後の外国人観光客の訪日再開を見据え、消費回復を後押しするため、今年度も「食かけるプライズ2021」を実施し、全国から食体験を募集します。

・第16回食育推進全国大会オンライン開催について（日時：令和3年6月26～27日）

https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/210528_16.html

<消費者庁HP掲載の回収情報>

農薬／動物用医薬品 おくらの農薬メソミル)	2件	(韓国産青とうがらしの農薬テブフェンピラド，中国産)			
アレルギー	2件				
品質	1件	(殺菌不良)			
微生物	1件	(カビ)			
異物	1件	(金属)			
添加物	1件				
	計8件				

★★弊社HPの分析項目アクセスランキング★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

	1位	2位	3位	4位	5位
5/24-	残農／動薬	栄養／機能	異物	アレルギー	官能／物性
5/17-	異物	残農／動薬	栄養／機能	官能／物性	アレルギー
5/10-	異物	残農／動薬	官能／物性	アレルギー	栄養／機能

↓栄養成分／機能性成分のページはこちらです↓

<https://food-analab.jp/service/nutrition.html>

★★

※本メールは、過去に弊社にご依頼を頂いたり、お名刺交換をさせていただいたお客様に配信しております。本メールがご不要のお客様は、ご一報いただけましたら、次回より配信を停止致します。

※万一、お客様のご所属・ご氏名に誤りがございましたらご一報下さい。速やかに修正致します。

株式会社ハウス食品分析テクノサービス
インフォメーションニュース係
Mail: info2@food-analab.co.jp

〒284-0033千葉県四街道市鷹の台1丁目4番
TEL:[043-237-5676](tel:043-237-5676) FAX:043-237-2912
URL:<https://food-analab.jp/>
